

豊中・サンマテオ
都市提携ニュース



創刊号
昭和42年12月20日 発行
豊中・サンマテオ
姉妹都市協会
事務局 豊中市総務部
企画課 (54)1121



閲覧用

サンマテオで凧揚げ祭り

(写真は、日本航空のステewardesses石黒良子さんからサンマテオ市長 ジョン・マーレイ氏に手渡された駿河凧の1つ 日本航空提供)



発刊に当って

豊中—サンマテオ姉妹都市協会
会長 市村善次

常日頃から深い御理解と御協力を賜わり、心からお礼申し上げます。

豊中とサンマテオが姉妹都市提携をしたのは、今から4年前の昭和38年10月8日のことであります。それから1年間準備期間をおいて当協会が昭和39年10月20日に設立されたのです。当初は会員数57でありましたが、現在162の多きにのぼっております。その間の両市の交流には目覚ましいものがあり、両市民の訪問者は今日までに120名の多きにわたり、相互理解と友好の度は日増しに高まっております。

近年、著しい交通輸送機関の発達によって距離的にも時間的にもますます世界は短縮されてきております。更に宇宙時代を迎え、世界の一体感はますます高まるものと考えられます。2年半後には、世紀の祭典万国博が大阪で開催されます。また、高速道路、高速鉄道、大型ジェット機の

乗り入れ等大阪の陸の玄関口として、豊中の果す役割は非常に大きなものがあります。いよいよその時には国際文化都市としての豊中の役割は重大であります。

姉妹都市提携の理念は、ピープル・ツー・ピープル・プログラムにのっとった民間外交をおし進めることであり、国の外交と違い国境や人種を越えて双方の「都市と市民」が真に平和と親善を愛好する盛り上げる力によって発生し発展してきたものです。従って、全世界の都市がそれぞれ外国の都市と、人間的な固い友愛のきずなで結ばれるなら、双方の相互理解が深まり、国際緊張はとけて、ひいては世界平和達成の悲願に寄与することと考えられます。

ここに、豊中、サンマテオ両市の友好と親善を一層深める意味で、当協会に対して格段の御高配を賜りますようお願い申し上げます。発刊の挨拶の言葉といたします。

中

姉妹都市だより

凧のお礼状届く!!

サンマテオの凧揚げ祭りの主催者であるトビックラークパーク委員会から写真集と一緒に次のようなお礼状が届けられました。

「このポートフォリオはまことに不十分な御礼品とは存じますが豊中市がその姉妹都市の初めての凧揚げ祭りにお送り下さいました熱心な御賛助に対して感謝の意味でトビックラーク公園委員会がまとめた物でございます。私共の初の凧揚げ祭りが大成功をおさめたのは偏に豊中市の寛大な御協力のお陰でございます。一同心から御礼申し上げます。

トビックラークパーク委員会」

アンダーソン夫人会長に再任!!

ラッセルB.アンダーソン夫人は、昨年に引き続いてサンマテオ姉妹都市協会の会長に就任し、今年度も姉妹都市提携事業に意欲的に活躍されております。新役員は次のとおり。

会長 ラッセルB.アンダーソン夫人
副会長 アレックスJ.スミス氏
秘書 ロバートJ.デリマー夫人
会計 W.D.クロケット氏



(写真は、アメリカン・プレジデントライン社を通じて送られてきた写真集に見入る竹内市長と下村助役)

下村隆子さん 民間外交使節として活躍中!!

下村隆子さんは、現在サンマテオ大学に在学中ですが、サンマテオを訪問する豊中市民の案内役又は通訳として、両市の親善交流の橋渡しをしております。

サンマテオで凧揚げ祭り 盛大に開催

去る5月28日に姉妹都市・サンマテオで日本の凧揚げを模範に第1回の凧揚げ祭り競技が市の共催を受けて250エーカー(約1,100,000㎡)もあるトビクラーク広場で行なわれました。

大人も子供も入りまじったこの競技は非常な盛況を呼び、当日は昼までに1,500人を越える人出でにぎわいました。地域から200ちかい凧が集まり、大きさ、高さ、滞空時間、デザイン、年令等の8部門に分けて争われました。

豊中からもサンマテオから依頼されて日本の凧(大凧2、中凧10、こうもり凧5、小凧10、うち大凧1は豊中商工会議所会頭からサンマテオ商業会議所会頭あてに贈呈)を送

りました。

トビクラークエステイトと呼ばれるこの広場はサンマテオ市の西方3マイルの地点にあり、トビクラークパーク委員会が主体となってここを文化センターとして使用できるように署名運動を起こし、市もカウンティも買収することを希望しております。このたびの行事も市民の目をこの地点に持続的に集中させることによって、この運動を有利に展開していくというもので、今後もこの凧揚げ祭りを姉妹都市行事の1つとして恒例的につづけたいそうです。なお、豊中から送った凧は現在サンマテオで大事に保管されており、今後も凧揚げ祭りごとに姉妹都市の空高く上がることでしょう。

1967年度ミス・日本藤川さん 姉妹都市を親善訪問

市内曽根東町に居住されている藤川香代子さんは、1967年度ミス日本の栄冠を歴代の中でも一番の年少という18才の若さで見事獲得して、7月15日からフロリダ州マイアミ・ビーチ市で行なわれたミスユニバース・コンテストに日本代表として参加いたしました。

途中藤川さんはサンフランシスコ市を訪れて、サンフランシスコ副領事の丸山愛一氏の出迎えを受け、シェリー市長に大阪市長からのメッセージを手渡しました。7月2日から3日間にわたる姉妹都市サンマテオの訪問では、マーレイ市長をはじめアンダーソン夫人(会長)、日本人会会長の池田早苗氏、サンマテオ大学在学中の下村隆子さん及び多くの市民から暖い歓迎を受けました。特に、マーレイ市長や日本庭園後援会会長をされている池田早苗氏の案内で日本庭園をご覧になり、市内見学を楽しまれました。藤川さんは、下村隆子さんの寄宿されているミス・ジェーン・テイラーさんの広壮

な邸宅に滞在されました。

藤川さんは、ミス・ユニバース・コンテストの入賞を逸しましたが、無事民間外交の大役を果たされて帰国されました。

(写真は、向って左からマーレイ市長、藤川さん、アンダーソン夫人、池田早苗氏)
—日本庭園にて—



琴の親善使節としてサンマテオを訪問

菊 楽 い と 子

私たちは、3月30日から約10日間の予定で姉妹都市・サンマテオを訪問して琴の親善演奏会を開催いたしました。私たちの一行は、愛弟子の山口玲子さん、吉田恵美さん、鏑木真樹子さん、それに私を入れて4人ですが、いずれも外国へ行くのは初めてで、得難い体験をさせていただきました。次に当時の思い出、印象をしのんでふり返ってみたいと思います。

3月30日(木)：午前6時すぎサンフランシスコ国際空港に到着、アンダーソン夫人(会長)をはじめ、大岩松吉氏夫妻、サム・フェルドスタイン夫人、4人のアラゴン高校生、レーンハート夫人、ロバート・ブランドベリー氏ほか多数の市民の出迎えを受けました。それから、それぞれの民泊先に到着してから、ドンミューラーさんと一諸に市役所にサンマテオ市長をたづねました。

3月31日(金)：ベレスフォード公園とサンマテオ大学を見学。ここで、ジョン・フーバード社会学教授と助手のアリス・ケネディさんと面会いたしました。また、家政学専攻スタッフによる手のこんだ手料理を御馳走になりました。午後、中央公園に行き、日本庭園を作った1人である杉本さんの案内で、庭園を見させていただきました。杉本さんは、こ

の中央公園内に新しいレクリエーションビルを作る計画を話してくれました。

夜、第1回の公式の琴の演奏会を市の新しく出来た公会堂のこけらおとしとしてもつことができました。会場は、カリフォルニア州旗と豊中市旗が組み合わせて飾っており、親善の意が通じて非常に嬉しく思いました。市関係者、関係団体の公人およそ500人が集まり、非常に盛大な演奏会でありました。フォスターの旋律による二重奏曲のケンタッキーホーム、はるかなるスワニー河、オースザンナ、オールドブラックジョー、草競馬を弾きましたところ非常に拍手を受けました。

4月1日(土)：朝からフェルドスタイン氏の家で琴の練習をしました。

夜、前日に引き続いて琴の演奏会をもち、一般の市民を対象に行ないましたところ、前回を上廻る人出でにぎわいました。また、サンマテオ市の小学生、中学生、高校生による友情出演も受け、非常に盛大に行なわれました。

4月2日(日)：仏教寺院(西本願寺系)へ行き、門主2世から昼食の接待を受けました。それから、2班に分かれてあちらこちらに家庭訪問と親善の御挨拶に行きました。

(写真は、サンフランシスコ国際空港でアンダーソン夫人の出迎えを受ける琴の親善使節一行)



4月3日(月):アラゴン高校長のケン・アレン氏がガイドとして学校を案内してくれました。特に、音楽、家庭科を見せていただき、音楽主任のロバート・ブランドベリー氏及び通訳のエルシー島本さんにお世話になりました。こども、学生たちと交換演奏を行ないました。

4月4日(火):ヒュー・ウェイン氏(市長代理)の世話で、キワニスクラブの会長リチャード・スリフト氏招待による昼食会に出席しました。そのときに、ジム中田さんが日本領事館から「日本の四季」というフィルムを借りてきて上映してくれました。そのときに私たちは琴を弾きました。増永大僧正が私たちの通訳をして下さり、キワニスクラブの人たちと充分話し合うことができました。

4月5日(水):隣のアルフレッド・スミスさんが個人的にオルガンコンサートを開いて下さいました。ソラブトミスト(職業婦人たちでつくっている教養クラブ)たちが私たちのために特別にペンフランクリンで昼食会をもって下さいました。リンドストロム夫人とマクドナルド夫人が一諸に民謡を歌って下さいました。

午後、ベルスフォード・ガーデンクラブでは、恒例に行なっている生花ショウを見せて下さいました。そして私たちを大変歓迎して下さいました。フォスターシティのH.パーレット夫人は、私たちを家庭に招待して下さい、お茶のもてなしして下さいました。

夜、池田早苗さん御夫妻が私と山口さんと鏑木さんをサンフランシスコの夜景を見に連れて行って下さいました。吉田さんはアンダーソン夫人と若い人たちのグループとでサンフランシスコ見物へ出かけました。サンフランシスコの夜景のすばらしさは、言葉ではいいつくせないほどです。

4月6日(木):トミコ須藤さんが私たちをゴールデンゲイト・ブリッジのたもとの船着場を案内して下さいました。サンフランシスコの大きな公園を通して、クリフハウスで昼食をとりました。そして、ウッドサイドのカナダロードというところへ行きました。

4月7日(金):今日で公式日程は全部終わったのですが、アラゴン高校の音楽教室でお礼の意味で琴を弾くことにしました。そこで、私たちが姉妹都市の置きみやげに考えて寄贈していた琴をまたまた集めてアラゴン高校に運んで弾き

ました。

午後、バーリンガムのアイススケート場へ行き、日本のフィギュアスケートのチャンピオンの佐藤ノブオ氏に会い

ました。4月8日(土):私の発案で、お別れをする前に一度家族だんらんの機会をもつ意味で、家庭の日と決めました。

私は約束があって池田早苗さんに連れられて北米毎日新聞社やテレビ局に御挨拶に行きました。その他の人たちは、ウェインさん御夫妻やエベリン・クーリーさんと一緒にパロアルトへ見物や買物に行きました。

午後、私たちはアンダーソン夫人の家に全部集まり、思い出話しに花を咲かせました。

4月9日(日):今日でサンマテオとお別れをしなければならぬのかと思うとなんだか目がしらがあつくなくて仕方がありませんでした。昼の12時半にサンフランシスコ国際空港を出発するまでの間のひとときをとらえて、あるキリスト教会で最後の琴の演奏会をもちました。空港ではアンダーソン夫人ほか40名ほどのサンマテオ市民が見送りに来て下さり、涙ながらでお別れをいたしました。

以上、簡単に姉妹都市・サンマテオでの生活を日づけを追って述べてみましたが、帰途ロスアンゼルスで1泊、ハワイで2泊して無事姉妹都市親善の任務を終えて4月14日豊中に帰ってまいりました。私たちは個人的に姉妹都市を訪問したのにもかかわらず、公式訪問に準じて最高の接待を受け、今でも非常に光榮に思っております。私たちは多くのサンマテオ市民と接し、豊中市民として一番多く握手の機会に恵まれましたことと思っております。異った国の、異った風俗・習慣を知るためには、私たちのように民泊をするのが一番手取り早いことと思っておりますが、言葉の分らない私たちが何ごとにもスムーズにいきましたのは、毎日誰かが交代で私たちの通訳をして下さいましたお陰だと思っております。民族、習慣を越えて色々な人情の機微にふれてみますとき、世界は皆兄弟であるという感を深めました。今でもサンマテオ市民やアメリカ領事館及びアメリカ文化センターの皆さんに感謝の言葉をいただきますとき、私たちは豊中とサンマテオと姉妹都市提携をしてよかったと感激を新たにいたしております。

姉妹都市協会総会・開催

本年度事業きまる

6月19日、豊中商工会議所において総会を開催しました。市村善次会長の挨拶に引きつづいて、昭和41年度会務並びに収支決算の報告があり、議案として①昭和42年度事業計画、②昭和42年度収支予算を審議しました。最後に「ばらの都サンマテオ」の16ミリカラーフィルムを映写しました。

なお、昭和42年度事業計画としては次のとおり可決されました。

1. 姉妹都市活動の推進と協会会員の拡充並びに組織の確立
2. サンマテオ市民等の接待交歓
3. サンマテオ市への訪問者に対する紹介

4. 両市の類似団体の提携あっせん
5. 会員子弟の留学に対する側面的協力
6. 協会会員の文通ほんやくあっせん
7. 教育資料等の交換あっせん
8. 芸術、文化等の交流並びに各種の催物
9. 記念物品の交換
10. 広報活動の推進

42年度入会者御紹介

法人会員:大和銀行豊中支店(支店長 野村 巖)
池田銀行服部支店(支店長 久代俊晴)
学校・団体会員:豊中青年会議所(理事長 三河寛治)
豊中南ライオンズクラブ(会長 岸岡敬三)
個人会員:豊中市383~23小谷孝子(金蘭会短大生)
永楽荘3~6~38木村実(ロータリークラブ会長)



短 信

- 昭和42年3月30日～4月9日 菊楽いと子夫人外愛弟子3名、サンマテオ市を親善訪問して琴の演奏会を開く。
- 4月10日 サンマテオ市評議員会でジョンJ.マーレイ氏がサンマテオ市長に指名される。
- 5月5日 ジョージ・アブラムソン夫妻来豊。千里ニュータウン、服部緑地を見学。
- 5月10日 ラッセルB.アンダーソン夫人 サンマテオ姉妹都市提携委員会議長に再選
- 5月11日 サンマテオ市長から国際電話にて日本の風を送ってほしいという依頼を受けて、駿河風と市内児童図画50点を日本航空を通じてサンマテオに送る。
- 5月17日 鳥井静夫氏(豊中バラ協会会長)訪米の帰途サンマテオ市を親善訪問、サンマテオバラ協会と交歓
- 5月23日 橋本守正氏(豊中青年商工会議所会員)、サンマテオ市を親善訪問
- 5月26日 フレッド・マードック夫妻、世界一周観光旅行の途次豊中に立ち寄り市内見学



(写真は、竹内市長を訪れたフレッド・マードック夫妻)

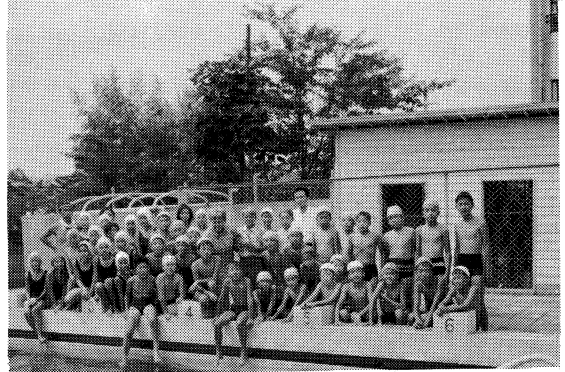
- 7月2日～4日 1967年度ミス日本に選ばれた藤川香代子さんが、マイアミビーチでのミスユニバース・コンテストに参加する途中サンマテオに立ち寄り、サンマテオ市長外数多くのサンマテオ市民と交歓、ジェーン・

編集後記

このたび皆さん方の要望にこたえて、都市提携ニュースの創刊号を発行いたしました。もっと早く発行すべきところを今日まで延び延びになってしまったこととお詫びいた

テイラーさん宅に民泊

- 7月11日 7月集中豪雨による被害に対して姉妹都市からぞくぞく見舞状が届く。
- 7月24日 バット・ヘインズ氏夫人とジム君が日本観光の途次来豊。上野小での水泳訓練を見学したのち、千里ニュータウン、服部緑地を見学



(写真は、上野小を訪れたヘインズ夫人とジム君)

- 8月9日～10日 関西テレビ記者の中沢隆司氏(豊中記者クラブ)と神戸新聞記者の八木圭吾氏(豊中記者クラブ)、サンマテオ市を親善訪問し、大岩松吉氏宅に民泊
- 8月25日～26日 ハーバード大学の研究員として1年間アメリカに留学していた和田正徳氏は、夫人と共にサンマテオ市を親善訪問し、ウィリアム・カイル氏宅に民泊



(写真は、和田正徳夫妻とウィリアム・カイル夫妻)

します。今後も引きつづいて定期的に発行いたすつもりでありますので、次号を御期待下さい。なお、内容的にももっと充実したものにしたいと思っておりますので、皆さん方の特にサンマテオ訪問者の寄稿を歓迎いたします。

会 員 募 集

個人会員 (入会金 500円) 学校・法人会員 (入会金 1,000円) 法人会員 (入会金 5,000円)
 (会費年額 1,000円) (会費年額 2,000円) (会費年額 10,000円)